

<p>【技術の名称】 長谷工基礎梁大貫通孔補強工法</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第11-11号 性能証明発効日：2011年8月9日</p> <p>【取得者】 株式会社長谷工コーポレーション</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造基礎梁に点検用人通孔として設けられる大口径貫通孔の補強工法である。その貫通孔周囲は開孔補強とし、梁主筋に片側を緊結した斜め補強筋、貫通孔両端の孔周囲せん断補強筋、貫通孔上下の軸方向補強筋、孔部あばら筋および拘束筋を配筋し補強することとしている。

本工法は、貫通孔の直径が基礎梁せいの1/3倍を超え1/2.4倍以下、かつ770mm以下の円形の貫通孔に適用することにしており、貫通孔を設ける位置は梁端部を除くスパン中央部としている。

本工法では、上部構造降伏メカニズム時せん断力に対して鉄筋コンクリート造基礎梁の貫通孔周囲がせん断破壊を起こさないように設計することを基本としている。

【技術開発の趣旨】

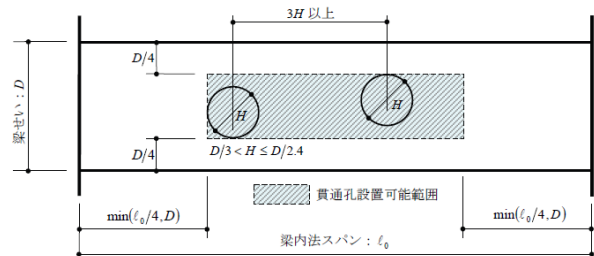
従来の鉄筋コンクリート造基礎梁の貫通孔補強法では、貫通孔の直径が梁せいの1/3倍以下に制限されているため、基礎梁に直径600mm程度の点検用貫通孔を設ける場合には、必然的に1800mm以上の梁せいが必要と

なる。これに対して、本技術では、貫通孔の直径を梁せいの1/3倍を超え1/2.4倍以下まで拡大させても所定のせん断終局強度が確保できることを意図して開発したものである。

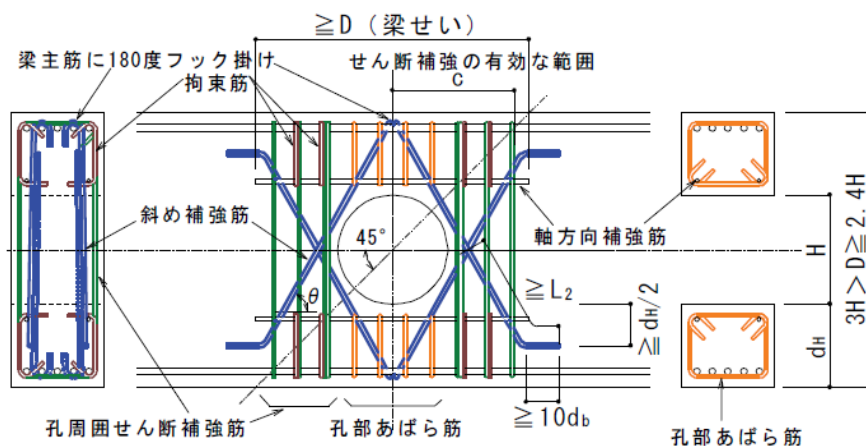
【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する長谷工基礎梁大貫通孔補強工法設計施工指針に従って設計した貫通孔を有する鉄筋コンクリート造基礎梁は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および保有水平耐力時の要求性能を満足すると判断される。



貫通孔設置可能範囲



貫通孔部補強方法

【本技術の問合せ先】

株式会社長谷工コーポレーション 技術研究所 担当者：平田延明 E-mail：Nobuaki_Hirata@haseko.co.jp
 〒343-0822 埼玉県越谷市西方 2968 TEL：048-988-7717 FAX：048-988-7727